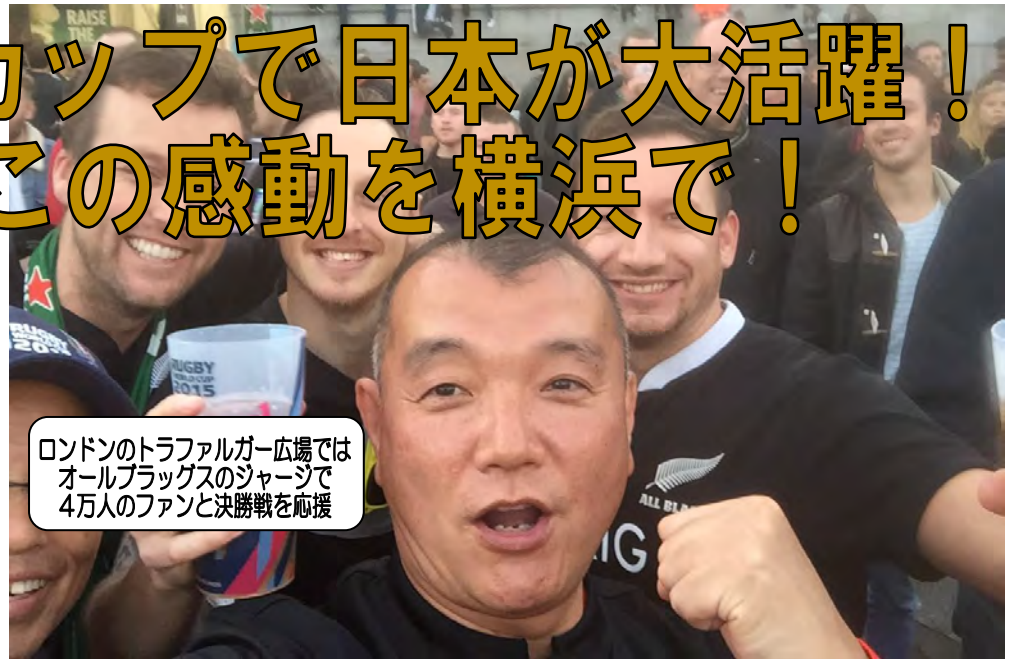


- 2019ラグビーワールドカップ決勝戦の開催に向けて
- 決算特別委員会総合審査での黒川市議VS林市長
- 超一流アスリート・アーティストと子供たちの交流
- 金沢八景・金沢文庫の駅周辺の環境のこれから
- 地域の消防団が活躍できるための新たな予算の措置
- 早稲田大学日本橋キャンパスで選挙に関する講演活動

ワールドカップで日本が大活躍！ 4年後はこの感動を横浜で！

2015年秋、ラグビーワールドカップでの日本の活躍は世界を驚かせました。世界が注目するきっかけとなった日本対南アフリカの試合は、今回のワールドカップのベストマッチモーメントに選ばれ、世界中が2019年の次回ワールドカップ日本開催を楽しみにしています。すでに決勝戦が開催されるのは横浜国際総合競技場（日産スタジアム）に決定しており、いまからしっかり準備をしておく必要があります。

横浜市ラグビー協会で顧問を務める市議員は黒川まさる市議ただ一人です。一時は危ぶまれたラグビーワールドカップ開催都市への横浜市の立候補、70人を超える超党派の議員が参加してくれた『2019ラグビーワールドカップを成功させる横浜市議員の会』の設立準備、子供や女性を巻き込んだタグラグビーや7人制ラグビーの普及啓発活動などに



ロンドンのトラファルガー広場ではオールブラックスのジャージで4万人のファンと決勝戦を応援

黒川議員は、横浜市ラグビー協会の沼田会長とともに地道に取り組んできたそうです。サッカーのワールドカップやオリンピックに匹敵すると言われる大会を横浜で開催すれば、シティーセールスやスポーツを通じた人材育成の実践になります。しかし当初は競技場の改修に多額の費用が掛かることもあり、行政も議会も賛同者ばかりではありませんでした。

最初の追い風は新国立競技場が間に合わなくなった時、次は日本代表チームがワールドカップで大活躍した時でした。9月の半ばから10月にかけては、南アフリカ戦の歴史的勝利、『市議員の会』の設立、2019日本大会決勝戦横浜開催決定、大勝したサモア戦のパブリックビューイングの実施と、蒔いてきた種が一気に咲き誇ったようでした。そして市会決算特別委員会では林市長

に対し、ラグビーのビッグマッチの招致を積極的に進めるべきと黒川議員は自民党を代表して訴えました。

議会終了後の10月28日から6日間、黒川市議は『市会議員の会』の有志とともにロンドンを視察しました。ロンドン市やイギリス政府傘下のスポーツ関連機関との意見交換、ジャパンパビリオンでの旧知の岡村日本協会会長、森元総理大臣、鈴木大地スポーツ庁長官ら国のキーマンとの交流、オリンピックスタジアムでの3位決定戦の試合観戦、トラファルガー広場のファンゾーンでの決勝戦観戦と、4年後に向けて意義深い視察になったそうです。

素晴らしい大会の運営と将来の世代へのレガシーの活用をロンドンに学び、これからの4年間でしっかりと『前へ』進めていくと黒川市議は決意を新たに語ってくれました。



関内でのパブリックビューイングでは日本代表アンパスターの田沼選手らとサモア戦に声援を送り快勝！

議会の論客として林市長に骨太の論戦を挑む

今年、愛知で都市緑化フェア
ここで目玉はモリゾー&キッコロ
そしてジブリ映画の再現でした



昨年度の決算を審議する横浜市会決算特別委員会の初日、黒川市議は、一問一答形式で林市長に論戦を挑み、当局側から多くの前向きな答弁を引き出しました。その一部をここに紹介します。(詳細は横浜市ホームページをご覧ください。)

黒川市議 (以下Q)：来年度末に横浜市内で開催される『全国都市緑化フェア・横浜フェア』の計画には目玉がない。18区とも連携し、将来のレガシーとなるシンボルを創るべきだ。

林市長ら当局答弁 (以下A)：時間もありませんがあらためて検討し、各区との連携やシンボル創りに取り組む。

Q：横浜マラソンにおいて、市民の誰もが参加できるウォーキングイベント『レースデーウォーク』を実施し、かつてのホルルマラソンのように市長も参加して欲しい。

A：今回は無理だが今後実施に向けて検討する。

Q：横浜スタジアムの集客向上策を見習って横浜国際競技場(日産スタジアム)も維持修繕費だけでなく魅力向上予算をつけ、活性化を図るべきだ。

A：様々な魅力向上策を打ち出しているつもりだが、今後も積極的に取り組みたい。

超一流のワザを若い世代に
体感してもらっています。

八景小学校ではノルセロナ五輪の
出場経験を持つ渡辺高博さん、金沢
高校では世界的ダンスチームのL U
C I F E Rさんによる体験レッス
ンを黒川市議は視察しました。横浜市
では様々な分野で超一流の選手やア
ーチストを学校に招いて子供たちが
超一流に触れる機会を作っています。



魅力あふれる超選手のスタジアムで
一流アスリートのベストパフォーマンスを

Q：同競技場ではラグビーの試合開催経験が乏しいので、協会に働きかけてラグビーのビッグマッチを開催しよう。

A：4年後の世界カップでは決勝戦以外にも数試合、それまでの期間も国際親善マッチやスーパーリーグなどのビッグマッチの招致に取り組む。

Q：国内有数の規模と能力を持つ下水道事業は、水道局と連携し地方自治体への支援、海外への展開をさらに進めるべき。

A：すでに取り組んでいるが民間企業とも連携して今後も展開していきたい。

Q：膨大な下水道管の維持管理・長寿命化のためには調査・点検を着実に進め、事故を未然に防ぎ、アセットマネジメントの視点で効果的に下水道環境の整備が必要だ。

A：調査診断やデータ化作業などは地域に根差して頑張っている地域の事業者としっかり連携をして今後も進めていくよう努める。

いざというとき頼りになる 地域で頑張る消防団のみなさん

昨年の自民党副団長の際に
消防団活動充実強化費の予算
化に取り組み、本年度黒川まさ
る市議は消防担当の常任委員
会の副委員長を務めています。
地域の特性に応じた予算の活
用や団員の新規獲得など、消防
団活動がさらに充実するよう
応援してまいります。



隔年開催の消防操法訓練大会
今年の金沢区代表は第三分団でした

将来の世代のために打つべき政策とは

Q：戸建ての住宅街、集合住宅団地、それぞれに高齢化、老朽化が進み住み替えや世代交代につながらない。土地の分割分譲や多世代同居、建て替えの促進や家賃の値下げなど、若い世代に選んでもらえる住宅政策を大胆に打ち出すべきだ。

A：十日町など市内4か所で取り組んでいる『持続可能な住宅地モデルプロジェクト』では地元の事業者とともに多様な住まいやエネルギーマネージメントに取り組んでいる。成功事例は積極的に全市展開したい。

Q：シーサイドラインの金沢八景駅接続を契機に、並木の団地再生、工業団地の活性化、沿線の観光資源の掘り起こしなどに積極的に取り組み、金沢八景駅の複線化に伴って運行本数を増やすべきだ。



アサリやカキの乱獲に対する取り締まり対策が必要です

A：新たな需要の掘り起こしには積極的に取り組みたい。増便については次々期中期経営計画には反映できるよう努力していく。

Q：平潟湾の水質環境保全のため、アサリやカキを乱獲する

者たちを市独自の条例で取り締まるとともに、20年近く行われていない平潟湾の浚渫事業を環境保全・災害対策の面からも実施を求める。

A：国の法律や県の条例に則って対処しており、条例化は難しい。いずれの課題も引き続き地域の声を聴いて新たな課題があれば必要な対応を進める。

Q：各局が協力し合って、商店主や小規模事業主、専業主婦などのがん検診の情報が届きにくく、検診の時間も作りにくい人たちへの検診率向上策を進めるべき。『がん月間』『がんウィーク』などの集中啓発期間を設けるべきではないか。



沿岸部に住宅が広がる金沢区には独自の政策展開が必要です

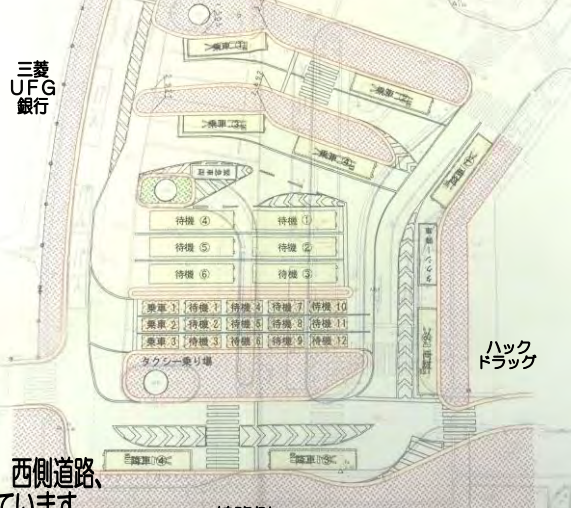
A：がん撲滅対策推進条例の趣旨に則り、全局的に対応を進め、議会に報告していく。集中啓発期間は条例に則って策定する。

Q：地域貢献企業の認定事業について、地域のつながりが強い区役所や、企業や団体との協働に取り組んでいる各局に協力してもらい、地域貢献や社会貢献に対する意識の高い企業を掘り起こして認定企業をさらに増やそうではないか。

A：企業の社会貢献や地域貢献、従業員へのワークライフバランスなどの意識は非常に高まってきている。認定事業はその中核として区や局と情報を共有して成果を上げていきたい。

金沢八景・金沢文庫が変わります

アピタ金沢文庫店の再オープンは来年夏の予定、金沢文庫西口バス乗り場などの導線も変わります。



金沢シーサイドラインの延伸、金沢八景駅舎改良、駅前広場や道路の区画整理事業、西側道路、金沢八景西公園（仮称）など一連の事業は平成30年度末の整備完了を目指して進めています。

日本最大の基礎自治体にふさわしい横浜市の姿とは

Q：首都高速とNEXCOが入り乱れる首都圏の高速道路網について利用者が不公平感なくわかりやすく利用できるようにと以前から訴えてきたが、平成28年からの新たな料金体系で横浜市民が損をするようなことはないのか。

A：距離に応じた料金体系に統一するとともに、大幅な値上げになってしまう道路は当面緩和措置をとる。同じ目的地であれば違うルートでも値段が変わらないよう工夫する。道路の選択肢が増えれば横浜市民にとっても利便性が高まるはず。



首都高横羽線と第三京浜が繋がります

Q：特別自治市の実現に向けて平成28年度から県との二重行政の解消に向けた『指定都市都道府県調整会議』が設置され、県からの権限や財源、人材や施設などの横浜市への移管が今後進んでいくはずだが、河川や崖対策における県の治水事務所の役割の委譲についてはどう捉えているか。

政策発信型の選挙活動について 全国の議員の前で発表しました。

パネルを活用した街頭政策広報活動、インターネット放送の活用、自転車遊説活動、ポスターや名刺の工夫など、普段からも選挙中も独自の政策を発信してトップ当選を果たした黒川まさる議員の秘策が全国から集まった地方議員に対し披露されました。



早稲田大学 日本橋キャンパスにて講演

A：人材や施設、大規模な維持管理や土木事業についての議論はこれからだが、重要な視点だと認識はしている。議会ともよく相談して進めていきたい。

Q：マイナンバー制度の導入により住民票や印鑑証明などのコンビニエンスストアでの交付が本格化し、行政手続きが簡素化・IT化されると区役所の窓口業務も減ってくるが、将来の区役所の在り方をどう捉えているか。

A：来庁者が減る分、地域のみなさんと行政・市民団体などをつなぐコーディネート機能や相談機能を高め、地域の住民に寄り添ったきめの細かい住民自治が実現できると思う。

Q：都市内分権が進み区役所が変われば、区選出の市会議員の役割も変わる。区民による選挙

で選ばれた住民代表である市会議員の役割や区政へのかかわり方についてどう考えるか。

A：議会で議論して決めるべきことだが、目的が特化した市民団体への予算措置や、世代間や地域間で意見が異なる課題の解決にはニュートラルな視点を持つ住民代表としての市会議員の存在は重要である。

日本最大の基礎自治体としての横浜市の将来を、前例にとられず独自の視点で林市長と議論を交わすことが出来たと、黒川まさる議員は語ります。大規模イベントや国際戦略から、地元である金沢区の細かい課題まで、幅広く議論を交わし賛同者を集め政策を実現できる実力を持った政治家として、黒川まさる議員の今後の活躍が大いに期待されます。

市民に関われた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさる横浜市会議員に対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

返信FAX045-786-4310

お名前・ご連絡先

ご意見をいただいた方にはお返事をさせていただきます。
(住所・メールアドレス・FAX番号何でも結構です。)

黒川まさる市議の活動はホームページからインターネットテレビ「やればできるテレビ」ブログ「黒川勝のヘビームーン」ツイッター、フェイスブックでチェックしてください。ITの活用による政策や政治活動の広報にも積極的の取り組んでいます。